

組合支援 ウォッチ

展示会出展成果最大化 セミナーを開催

本会では、ものづくり・商業・サービスの分野で革新的な取組みにチャレンジする中小企業・小規模事業者が実施する試作品・新サービスの開発や設備投資等に要する経費の一部を補助することにより、中小企業・小規模事業者の競争力強化を支援し、即効的な需要の喚起と好循環を促し、経済活性化を実現することを目的とした通称「ものづくり補助金」事業に取り組んでおります。

さる9月22日（金）、TKPガーデンシティ博多アネックスにおいて、ものづくり補助金採択事業者を対象に販路開拓支援の一環として、展示会コンサルタントである辻井勝氏（展示会研究所）をお招きし、展示会までの準備、当日の運営ポイント、展示会終了後のフォローアップ方法等に関するセミナーを開催いたしました。

講師からは、展示会に出展する企業の多くが「いかに来場者に訴求すればよいのか」「アンケート回収後の活用が難しい」「費用対効果が見えにくい」「出展効果の数値化ができていない」といった不満や不安な意見を持っているとの報告がございました。そういった内容の多くは、展示会への出展が、展示品を並べ、スタッフを配置し、来場者とコミュニケーションする

という、誰にでもでき難くないように思われているため、出展成果の想定が不明確になることに原因があるとの説明がなされました。

そのためセミナーでは、「どうすれば出展成果の最大化が図れるか」といった観点で、「出展の成果を想定する」「来場者の視点で点検する」「数秒で判断する来場者の視線を数十秒まで延ばす」「展示会場だけが展示の場ではない」「開催前、開催中、開催後の3つのアプローチ機会を活かす」といった内容を中心に解説が行われました。

本セミナーを通じ、ものづくり補助金採択事業者の事業化につながることを期待して引き続き支援を継続していききたいと思います。



展示会研究所 代表 辻井勝氏



会場の様子